

## インターバンクの声（2016年5月27日）

金曜日の日程が残ってはいるものの、市場はG7伊勢志摩サミットで合意される内容が相場に影響することはないだろうと見切ってしまうているようだ。ロンドン、ニューヨーク市場は、既にいつものように経済指標、株式市場の進展や原油相場の変化を追いかけている。米連邦準備制度理事会（FRB）高官の相次ぐタカ派的な発言や堅調な米国の経済指標の発表が続いたことで、6月か7月の利上げ観測が徐々に広がっていたが、やはりそうした見方はいつまでも続いてくれない。米新規失業保険申請件数は予想を上回る改善となったが、4月の米耐久財受注の結果が投資低迷を示唆する内容だったことで早期の利上げ観測が後退してしまった。受注額自体は強めの内容だったが、設備投資の先行指標となる非国防資本財受注が3ヶ月連続してマイナスになったことが響いた。イエレン議長が今晚の米大学主催での討論会で金融政策に関連する発言をするとの見方は少ないようだが、今後の米経済指標に弱めの発表が続いたり、6月6日のイエレン議長の発言がハト派になれば、6月か7月の利上げの可能性は消滅だろう。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。